

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公開番号】特開2017-129394(P2017-129394A)

【公開日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-028

【出願番号】特願2016-7616(P2016-7616)

【国際特許分類】

G 01 M 11/00 (2006.01)

G 03 B 15/00 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/222 (2006.01)

【F I】

G 01 M 11/00 T

G 03 B 15/00 T

G 03 B 15/00 W

H 04 N 5/225 Z

H 04 N 5/222 B

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月9日(2019.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

測定サンプルの表示面の面内輝度を測定する輝度測定装置と、

前記輝度測定装置を搭載し、前記輝度測定装置のノーダルポイントを中心に前記輝度測定装置を回転させる回転機構を有する治具と、

前記表示面内の第1表示領域の前記輝度測定装置による第1測定データと、前記第1表示領域と隣接する前記表示面内の第2表示領域の前記輝度測定装置による第2測定データとを接合するデータ接合部と、を備え、

前記第1、第2測定データは、前記輝度測定装置が前記回転機構による互いに異なる回転姿勢で測定して得られたデータである、

輝度ムラ測定装置。

【請求項2】

前記治具は、前記輝度測定装置のノーダルポイントが前記回転機構の回転軸に一致するよう、前記輝度測定装置を移動させる移動機構を有する、

請求項1に記載の輝度ムラ測定装置。

【請求項3】

前記輝度測定装置と前記回転機構の回転軸との距離は固定であり、

前記回転機構の回転軸は前記輝度測定装置のノーダルポイントに重なる、

請求項1に記載の輝度ムラ測定装置。

【請求項4】

前記輝度測定装置は前記治具にネジで取り付けられ、

前記ネジの回転軸が前記輝度測定装置のノーダルポイントに重なる、

請求項3に記載の輝度ムラ測定装置。

【請求項 5】

測定サンプルの表示面の面内輝度を測定する輝度測定装置と、

前記表示面内の第1表示領域の前記輝度測定装置による第1測定データと、前記第1表示領域と隣接する前記表示面内の第2表示領域の前記輝度測定装置による第2測定データとを接合するデータ接合部と、を備え、

前記輝度測定装置は、前記輝度測定装置のノーダルポイントを中心に前記輝度測定装置を回転させる回転機構を有し、

前記第1、第2測定データは、前記輝度測定装置が前記回転機構による互いに異なる回転姿勢で測定して得られたデータである、

輝度ムラ測定装置。

【請求項 6】

前記輝度測定装置が測定領域に対して正対しないことにより生じる測定データの台形歪を補正する台形歪補正部をさらに備え、

前記データ接合部は、前記台形歪補正部により補正された前記第1測定データ及び前記第2測定データを接合する、

請求項1から5のいずれか1項に記載の輝度ムラ測定装置。